

## 信頼と安心の

## 二輪車販売店を目指して

ACTIVE KUMIAI

## 山梨県オートバイ事業協同組合

山梨県オートバイ事業協同組合(西谷理事長)は11月6日、店頭販売されている二輪車(新車・中古車)のプライスカードや品質評価書などの記載事項が適正かどうかを確認するため、県内にある7軒の二輪販売店の店頭調査を実施した。調査員は、(社)自動車公正取引協議会二輪車業務グループの森本課長補佐、規約指導員の資格を持つ西谷理事長と吉田専務理事が担当した。

店頭調査は毎年実施され、表示内容の不備はお客とのトラブルの原因となりやすいことから、公正競争規約に基づき適正に情報提供されているかを調査し、必要に応じて指導することで、トラブルを未然に防ぎ販売店の質の向上につなげている。

また、14日には甲府市川田町のリバーズ和戸の研修室において、二輪品質評価者の資格取得のための講習会を開催した。この講習会は、自動車公正取引協議会会員店を対象に年1回開催しており、参加者は県内の二輪販売店のほか、東京や長野からも参加があった。

今回の講師は、二輪品質評価者のトレーナーである小野副理事長と吉田専務理事が担当し、二輪車を販売する際に掲示するプライスカードの適正な表示の仕方や接客のポイント、お客とのトラブル事例などが説明

され、受講を終えた参加者には、認定証と二輪品質評価者在籍店ステッカーが交付された。

組合では、二輪車を安心して購入してもらうための環境を整備するため、今後も消費者の視点に立った取り組みを実施していくことで、二輪車の普及や業界の信頼向上に努めていく。



二輪品質評価者講習会のようす



森本課長補佐から説明を受ける販売店